		門学校_	│ 開講年度 │平成28年度 (2	2016年度)	授業科目	設計製図 I		
科目基础	楚情報				Г			
科目番号		0003		科目区分	専門 / 必修	3		
授業形態		実験・	実習	単位の種別と単位	立数 履修単位:	2		
開設学科		機械シ	ステム工学科	対象学年	1			
開設期		通年		週時間数	2			
教科書/教	材	書名:	機械設計 著者: 林 洋次、他	発行所;実教出版				
旦当教員		奥村 真	彦					
到達目標	票							
立体形状 幾械製図の 面粗さの	をイメージ の規格を理 表示や寸法:	でき、作図 解し、機械 公差を理解	による表現ができること。 部品等の製作図を正確に作図できること できること。					
レーブリ	ノツク			I=34.11 =13± .		T		
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レイ		未到達レベルの目安		
評価項目1			自分が製作したい部品の図面を正 確に描画できる。	指示された部品の 画できる。	の図面を正確に描	指示された部品の図面が正確に推画できない。		
学制の基		百日とのほ				E CC 30 %		
		タロこの	利					
教育方法	太寺	1						
既要 受業の進	め方・方法	関する。 投影図の表現 本授業	品の設計図等の図面を日本工業規格に則 基礎的な知識と技術を修得する。 の描き方やスケッチによる形状表現、種 を学ぶ。 では、機械加工の工程に基づく作図法や 識と技術を実習を通して体験的に学習す	々の寸法記入法、	寸法公差・面の肌の	D表し方、幾何公差の表し方、ねじ		
主意点		作図等の	の実習では、授業の各単元毎に設定され で扱う内容は、ものづくりに関わる機械 容は全て理解し、実習においては実際の 題には誠実に取り組み、期限厳守にて課	る課題に取り組む。		・ は知識・技術である。 強を持って臨むこと。		
		製図課	題には誠実に取り組み、期限厳守にて課	題図面を提出する。	ر الماري . الماري الماري			
受業計画	画_							
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
		1週	機械製図の基礎		図面の役割と種類を理解できる。			
		2週	図面に用いる文字と線		製図用具を正しく使うことができる。			
		3週	課題1 文字の作図、線の作図		線の種類と用途を説明できる。			
					「文字の作図、線の作図」の課題に取り組み完成で			
	1stQ	4週	課題1 文字の作図、線の作図		る。			
		5週	基本的な図形の描き方		図形を正しく描くことができる。			
		6週	課題2 基本的な図形の作図		図形を正しく描くことができる。			
		3,⊞			「基本的な図形の作図」の課題に取り組み完成で			
		7週	課題2 基本的な図形の作図		0			
前期		8週	投影図の描き方		物体の投影図を正確に描くことができる。			
נעלניו		9週	課題3 投影図の作図		物体の投影図を正確に描くことができる。			
		10週	課題3 投影図の作図		物体の投影図を正確に描くことができる。			
	2ndQ	11週	課題3 投影図の作図		「投影図の作図」の	の課題に取り組み完成できる。		
		12週	立体的な図の描き方		物体の等角図・キャビネット図を正確に描くこと			
		12週	立体的な図の描さり		きる。			
		13週	課題3 立体的な図の作図	等角図・キャビネット図の作図に取り組み完成できる				
	1	14週	寸法記入法		図面に寸法を記入することができる。			
	1	15週	課題4 寸法記入		することができる。			
	1	16週	課題4 寸法記入		図面に寸法を記入することができる。			
後期		1週	立体的な図を参考にした投影図への寸	法記入	立体的な図面を基づる。	に、投影図に正確に寸法を記入でる		
	1	2.III		\ <u></u>		 に、投影図に正確に寸法を記入でる		
		2週	立体的な図を参考にした投影図への寸	法記人	る。			
		3週	スケッチの描き方		部品のスケッチ図を描くことができる。			
	1	4週	軸の製図		軸のある部品の図面を描くことができる。			
	3rdQ		わじ、ナオハギ、東西州北の司ユ		ねじ、寸法公差、表面性状について、図面への記え			
		5週	ねじ、寸法公差、表面性状の記入	仕方を理解する。				
		6週	 課題5 弁棒		ねじ、寸法公差、表面性状を指定する必要のある部品 の図面を正確に描画できる。			
		7週	課題5 弁棒		ねじ、寸法公差、表面性状を指定する必要のある部品 の図面を正確に描画できる。			
		1.	†					
		8週	公差・面の肌の表し方		公差と表面性状の意味を理解し、図示することができ る。			
		9週	課題6 片口スパナ					
					五左こ衣面は水の息吹を生廃し、因がすることができ る。			
		9週						
	4thO	10週			公差と表面性状の	意味を理解し、図示することができ		
	4thQ		課題6 片口スパナ		公差と表面性状の る。	意味を理解し、図示することができ ・ナットの図面を描画し、完成さ		

		- NE	٠,١,٥	~=·-			ねじの種類を理解	 L. ねĽσ		 く描くことが
	11	2週	ねじの表し方			できる。				
	1	3週	課題7 ボルトナット				ねじの種類を理解し、ねじの図面を正しく描くことが できる。			
	1	4週 課題					ねじの種類を理解し、ねじの図面を正しく描くことが できる。			
	15週 課題		課題	果題7 ボルトナット			ボルト・ナットの図面を描画し、完成させる。			
							寸法公差・はめあいについて理解し、人に説明できる			
T-"11							0			
モデルコア	′カリキュ		字習		1				70.±1 -2.1	142 AHV /EI
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目				到達レベル	
					図面の役割と種類を適用できる。			2	前1	
					製図用具を正しく使うことができる。			2	前2	
					線の種類と用途を説明できる。			2	前3,前4	
					物体の投影図を正確にかくことができる。			2	前9,前 10,前11,前 12	
					製作図の書き方を理	里解し、製作図を	作成することができ	:る。	2	後13,後 14,後15,後 16
	公服別の事	專 機械系分野			図形を正しく描くことができる。			2	前6,前7,前 8	
専門的能力	分野別の専 門工学		分野		図形に寸法を記入することができる。			2	前13,前 14,前15,前 16	
					公差と表面性状の意味を理解し、図示することができる。			2	後5,後6,後 7,後8	
					部品のスケッチ図を書くことができる。			1	後1,後2,後 3,後4	
					ボルト・ナット、軸継手、軸受、歯車などの機械要素の図面を作成できる。			2	後12	
					標準規格の意義を説明できる。				2	
				機械設計	ねじ、ボルト・ナットの種類、特徴、用途、規格を理解し、適用できる。				2	後9,後 10,後11
評価割合										
課題発表			 表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合語	†	
総合評価割合 100					0	0	0	0	10	
基礎的能力 0		-			0	0	0	0	0	
専門的能力 100					0	0	0	0	10	n
771 167 1677		0 0			0	0	0	0	0	